

国際炭素パートナーシップ（ICAP）について

1．概要

- ICAP は国際カーボンマーケットの構築を目指す政府・公的自治体のための国際的フォーラムであり、2007年10月に正式発足した。
- その目的は、各国で個々に実施あるいは検討されているキャップ・アンド・トレード型の国内排出量取引制度の国際的リンク（連携）を確実化することとされている。
- この達成のために、ICAP は、専門家フォーラムを立ち上げ、カーボンマーケットの設計、互換性、将来のリンクについての重要な論点について議論を行い、障壁と解決策を特定することとされている。

2．ICAP 宣言（2007年10月29日・リスボン）の要旨

- 科学は、気候変動を管理するための緊急の行動が求めている。
- 行動した場合のコストは、行動しない場合のコストよりも小さい。
- キャップ&トレード型の市場ベースの手法は、気候変動対策の鍵となる。
- すでに、EU、ノルウェー、ニュージーランド、RGGI、WCIなど、多くの国や地域が、キャップ&トレード制度を導入あるいは導入準備中である。その他の国々においても関心が高まっている。
- グローバル炭素市場のもたらす利益
 - 将来のリンクは、より低コストでの排出削減をもたらし、技術革新を促進すると見込まれる
 - トレード量の増大と市場の流動性の改善は、明確な価格シグナルを作り出す
 - また、リンクされた制度は、投資家の期待を安定させ、グローバルな低炭素経済への資金の移動を進めるだろう
 - 現在、設計に関して協力することは、将来、各国・地域の方が許す範囲でリンクすることに役立つだろう。

3．ICAP の経緯・予定

- (1) 設立式典及び第1回専門家フォーラム（2007年10月29日・リスボン）
ポルトガル・リスボンにて、メンバー国・地域の代表（パローゾEC委員長、EU各国閣僚、米州知事等）が宣言に署名。
- (2) 第2回専門家フォーラム（2007年10月30日・リスボン）
上記設立式典に引き続いて、参加メンバー国・公的自治体の専門家が、作

業計画、 組織的事項、 今後のスケジュール等について議論。会合後、 1
1 月中には合意を得て、 その結果を COP13 (パリ) で発表。

(3) 第 3 回専門家フォーラム (2 0 0 8 年 1 月 2 2 日 ・ ニューヨーク)

参加メンバー国 ・ 公的自治体の専門家が、 組織的事項、 2008 年の ICAP
の活動プログラム等について議論。

(4) ICAP コンフェレンスの開催予定

2008 年中に 「 排出量のモニタリング ・ 算定 ・ 検証 ・ 遵守 ・ 執行に関するコ
ンフェレンス 」、「 排出枠のオークションに関するワークショップ 」、 を欧州 ・
米国の各地で開催し、 関係者との意見交換や議論を深めてゆく予定。 また、
排出量のモニタリング ・ 算定 ・ 検証 ・ 遵守 ・ 執行や排出枠配分に関する研究
結果などを ICAP としてフォローアップしてゆく予定。

< 参考 > ICAP 創設メンバー

| | |
|---------------|-----------------------------|
| EU 委員会 (EU) | 米メイン州 (RGGI ¹) |
| フランス (EU) | 米マサチューセッツ州 (RGGI) |
| ドイツ (EU) | 米ニュージャージー州 (RGGI) |
| イタリア (EU) | 米ニューヨーク州 (RGGI) |
| アイルランド (EU) | 米アリゾナ州 (WCI ²) |
| オランダ (EU) | 米カリフォルニア州 (WCI) |
| ポルトガル (EU) | 米ニューメキシコ州 (WCI) |
| 英国 (EU) | 米オレゴン州 (WCI) |
| ノルウェー | 米ワシントン州 (WCI) |
| ニュージーランド | 加ブリティッシュコロンビア州 (WCI) |
| | 加マニトバ州 (WCI) |

1 RGGI (地域温室効果ガスイニシアテ
ィブ) 参加州 (米国北東部の州)

コネティカット
デラウェア
メイン
ニューハンプシャー
ニュージャージー
ニューヨーク
バーモント
マサチューセッツ
ロードアイランド
メリーランド

2 WCI (西部気候イニシアティブ) 参加
州 (米国西部の 7 州とカナダ西部の 2 州)

アリゾナ
カリフォルニア
ニューメキシコ
オレゴン
ユタ
ワシントン
モンタナ
ブリティッシュコロンビア (カナダ)
マニトバ (カナダ)